

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	高山 有紀
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	REQ211

授業のキーワード	日本文化史、教育と社会、子ども
授業の概要	日本文化、学校教育、子どもに関わるテーマをひとつ選び、次に「なぜそれが重要なのか」を歴史的な視点で考察します。「今後どうあるべきか」について考えられるとさらによいでしょう。
期待される学習成果 (目標)	1、日本文化、教育や子どもに関わる問題を通して、日本社会の変遷について学ぶことが出来ます。 2、身近な文化に関心を持ち、自分との関係性を知ることによって、視野を広げることが出来ます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。
2	教育問題の実情	現在話題になっているいくつかの教育問題について説明します。
3	教育の歴史①	子どもと家庭教育の歴史について学びます。
4	教育の歴史②	子どもと家庭教育の歴史について学びます。
5	教育の歴史③	子どもと家庭教育の歴史について学びます。
6	教育の歴史④	子どもと家庭教育の歴史について学びます。
7	教育の歴史⑤	子どもと家庭教育の歴史について学びます。
8	中間のまとめ	前講までの学びを総括します。
9	ゼミ論文の準備①	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
10	ゼミ論文の準備②	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
11	ゼミ論文の準備③	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
12	ゼミ論文の準備④	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
13	ゼミ論文の準備⑤	ゼミ論のテーマについて、各自報告をします。
14	ゼミ論文の準備⑥	論文の書き方について説明します。
15	まとめ	本講での学びを総括します。夏休み中に行うべきことを示し、確認します。

定期試験	ゼミ論文の構想と、夏休み以降の作業計画を提出してもらいます。
授業時間外学習	第1～4講：ゼミ論のテーマを決めるための下調べを行います。第5～7講：資料を事前に読み予習をします。第9～13講：参考文献を探し、ゼミ論執筆の準備をします。第14講：章立てを決定します。
評価方法	授業への取り組み (30パーセント)、課題に対する評価 (70パーセント) により総合的に評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	
参考文献	江藤恭二監修『新版子どもの教育の歴史—その生活と社会背景をみつめて—』名古屋大学出版会 小山静子『子どもたちの近代—学校教育と家庭教育—』吉川弘文館